

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	血液学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 木曜3限	教室名	801 802
担 当 教 員	重松 康之	実務経験と その関連資格	多根総合病院で臨床検査技師として勤務。主に採血、血液検査を担当			
《授業科目における学習内容》						
赤血球・白血球・血小板の発生と分化を理解することにより、血液学の基礎が理解できる。それに付随する検査をしっかりと学び正しい検査データを出せる力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
血液検査学(医師薬出版)						
《授業外における学習方法》						
授業ノートをまとめてください						
《履修に当たっての留意点》						
血液の発生など基礎をしっかりと学んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の基礎を説明できるようになる	血液検査学 (医師薬出版)	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	血液成分について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	血球の産生と崩壊について説明できるようになる	血液検査学 (医師薬出版)	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	血球産生 各細胞の分化と成熟について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球の形態と機能を説明できるようになる	血液検査学 (医師薬出版)	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	正常赤血球の機能とヘモグロビン代謝			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	鉄の代謝 ビタミンB12の代謝について説明できるようになる	血液検査学 (医師薬出版)	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	鉄の代謝 ビタミンB12の代謝			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	白血球の産生と崩壊について説明できるようになる	血液検査学 (医師薬出版)	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	顆粒球系成熟段階			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 白血球5分類を説明できるようになる	血液検査学 (医師薬出版)	授業ノートを見直してください
	各コマにおける授業予定	好中球 好酸球 好塩基球 単球 リンパ球		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 血小板の産生と崩壊について説明できるようになる	血液検査学 (医師薬出版)	授業ノートを見直してください
	各コマにおける授業予定	血小板の発生		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 1次止血について説明できるようになる	血液検査学 (医師薬出版)	授業ノートを見直してください
	各コマにおける授業予定	血小板の機能(粘着 凝集 放出) 出血時間について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 2次止血について説明できるようになる	血液検査学 (医師薬出版)	授業ノートを見直してください
	各コマにおける授業予定	外因系・内因系・共通系について PT、APTTについて		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 止血疾患について説明できるようになる	血液検査学 (赤本)	授業ノートを見直してください
	各コマにおける授業予定	血友病、ビタミンK欠乏症、播種性血管内凝固について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			